

# 梅桜桃李

「生まれ出ようとする鳥は、自らをとりまく一つの世界を破壊しなくてはならない」ヘルマン・ヘッセの言葉である。自ら殻を破り、翼を広げて飛び立つ鳥のように、決然と歩みを定めるべくその時に向けて、さあ現在ここで何ができるか——。世界中が、君を待っている。

## 進路行事の振り返りから

### ① 5月9日 キャリア探究セミナー（リベラルゼミ開講式）

「君が学ぶと世界が変わる コロナ後の社会をどうつくるか」

講師：前川 直哉 先生（福島大学教育推進機構高等教育企画室准教授）

・回答者数：セミナー対象者である1年生全員のうち227名



体育館での講演では、多くの質問が飛び交う活気に溢れていました。

身についた力を評価しよう！	5段階の自己評価で「5」・「4」の割合
探究力・研究力 (課題を発見し、その解決策を見つける力)	78.0%
傾聴力・発信力 (意図をくみ取って思考し、他者に伝える力)	80.2%
完遂力 (困難な課題に対し、最後までやり遂げる力)	73.1%
情報分析力 (情報を比較検討し、活用する力)	74.9%
往還力 (探究学習とその他の学習を関連付ける力)	79.7%



放課後には、個別に話をしたい生徒に最後まで親身に寄り添っていただきました。

今回の講話を通して、「できる！」と考えたことや、「やってみたい！」と考えたことを書いてみよう。

・「カッコいい大人」になりたい！ ・自分のためにではなくて将来の人のために勉強する。 ・誰かの幸福のために勉強するという意識で勉強したい。 ・他人の意見を押しきって自分の意見を貫いて行動すること。 ・国内の震災地域や海外の貧困地域などでのボランティア。 ・ただ何かが起こるのを待つのではなく、自分から行動できるようにしたい。 ・学びに対しての視点が変わり、やる気が出た。

今回の講話を通して、特に重要だと考えたことを書いてみよう。

・「こういう時のために勉強してきましたから」。 ・人の力になるには、学校で力をつける必要がある。 ・“他人事”として考えずに、“自分事”として考える「カッコいい大人」になること。

### ② 5月13日 東大「五月祭」見学会 ・参加者：1・2年生の希望者205名 ・回答者：174名

質問項目	回答のうち「大変役に立った」「どちらかという役に立った」の割合
この見学会はあなたが学部・学科、大学の選択を考えるうえで役に立ちましたか。	83.9%
この見学会は東京大学について知る上で役に立ちましたか。	98.2%

東京大学への志望に関してあてはまるものを1つ選んでください。（主な回答とその割合）

これまで志望していなかったし、見学会に参加しても志望しようとは思わない。	61.5%
これまで志望していなかったが、見学会に参加し志望したいと思うようになった。	12.1%
志望について迷っていたが、見学会に参加し志望したいと思うようになった。	10.3%
これまでも志望していたが、見学会に参加し志望の気持ちがより強くなった。	5.7%

見学会に参加しての感想や考えたことを自由に書いてください。

・今までは東大が遠い存在だったけれど、今回の見学会を通してより身近に感じられるようになった。  
 ・東大はガリ勉ばかりだと思っていたが、そんなことはない。 ・大学の文化祭に初めて行ったので、文化祭がどんなものか知れたし、東大生の視点や考え方がすごくておもしろかった。東大を目指すわけではないけれど、自分の志望大学に合格できるように頑張りたい。 ・大学のとても自由な感じを感じた。また、自分が最近勉強をあまりしてなかったことを思い出し、頑張ろうと思えた。ダンスのパフォーマンスなどとても楽しいものもあり、とても楽しかった。勉強も部活も頑張りたい。 ・東大に初めて来て楽しかった。他の大学にも行ける機会があれば行ってみたい。進路を考えるきっかけにもなった。 ・東大生が、思っていたより勉強以外のことも楽しんでやっていることが分かってすごいと思った。学習面に関してはもちろん、それ以外のことも管理が上手な人達が多いと思うのでいろいろ参考にしたいと思った。

③ 5月19日 リベラルゼミ 2023・第1回

「“なりたい未来”を創るために、どうする？ Do する？」

講師：石橋 哲 先生（東京理科大学大学院経営学研究科教授）

・回答者数：1・2年生の参加者31名のうち18人

身についた力を評価しよう！	5段階の自己評価で「5」・「4」の割合
探究力・研究力	94.5%
傾聴力・発信力	88.9%
完遂力	60.1%
情報分析力	72.1%
往還力	83.3%



2013年から毎年講義していただいている石橋先生のお話は今年も熱く、生徒も最後まで真剣に考えている様子でした。



ゼミ後半では、有志団体「防災と環境を考える会」を立ち上げ活動してきた3年生2人（伊関佳純さん・佐久間俐乃さん）の報告もありました。

今回の講話を通して、「できる!」と考えたことや、「やってみたい!」と考えたことを書いてみよう。

・自分で物事をしっかり考え、周りに影響されないようにしたい。先生がいくつか紹介していた本を読んで『茶色は茶色』『黒は黒』と自信を持って言えるような大人になりたい。いつ起こるかわからない災害に向け、準備を先延ばしせず、今日からしっかり考えたい。 ・災害を他人事と捉えず、自分に今何ができるか考えていきたいと思った。 ・高校生の力はすごいのだとおっしゃっていたのが印象的で、実際に先輩方の行動力による取り組みも知ったので、私も高校生の今にしかできないことに参加してみたいと思った。

今回の講話を通して、特に重要だと考えたことを書いてみよう。

・「自分で考えなくなる、空気を読み続ける」では無く、自分の意見をハッキリ言えるようになるのが大切。  
 ・周りに流されるのではなく、自分の意見をしっかりと持ち仲間と対話することで、いい意見が広まってゆき、社会全体が変わるかもしれないということ。 ・何をどう知りたいのかを明確にすること。

5月の進路企画行事の振り返りを抜粋しながら紹介してきましたが、皆さんの言葉をじっくりと読みながら、福高生というのはつくづく「自分の頭で考えられる人」が多いなあと感じました。「自分事に落とし込む」というのが何事にも重要だと言われる世の中ですが、今後も様々な企画を通じて、「自分だったらどう考えるか、どうするか、Do するか」を常に考えてほしいと思います。

### 【今後の予定】

6月24日（土）出張リベラルゼミ「浜通りを知り、浜通りから考える」：伝承館、請戸小学校

27日（火）リベラルゼミ・第2回 講師：宮本 ゆき先生

… アメリカのデュポール大学准教授が、緊急来日!!!

著書『なぜ原爆が悪ではないのか——アメリカの核意識』（岩波書店、2020）

30日（金）進路研究セミナー：2・3学年生徒・保護者対象企画

「**東北大学の入試を知り、東北大学で学ぶ意義を考える**」（仮題）

講師：倉元 直樹 先生（東北大学 高度教養教育・学生支援機構 高等教育開発部門入試開発室 教授）

7月 4日（火）リベラルゼミ・キャリア（仕事の日・第1回）

講師：アサノコウタさん（設計事務所 BHIS 主宰、芝浦工業大学および福島学院大学非常勤講師）

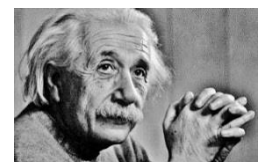
… テーマ：「まちづくり」

菊田 良将さん（株式会社菊田工務店専務）… テーマ「パッシブハウス（エコハウス）」

◆ 今年度から始まる新企画「仕事の日」。福島で活躍する気鋭の実践家に学びます。

「何かを学ぶには、体験以上の方法はない」

… アルベルト・アインシュタイン（右写真）の言葉



進路指導部では、今後も様々な行事を企画していきます。その企画を活かすのは、生徒の皆さん自身です。どうぞ積極的に参加し、自分なりの課題意識を持ってガンガン取り組んでほしいと思います。